

“経営に知恵と革新”

平成 29 年 9 月 1 日発行（隔月発行）Vol.736 号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2017 年 8 月・9 月号



株式会社モスフードサービス
代表取締役会長 櫻田厚氏

青木 幸江会長

認定経営革新等支援機関

 一般社団法人日本経営士会

66TH ANNIVERSARY

第51回 経営士全国研究会議 東京大会

一般社団法人日本経営士会創立66周年記念大会は東京での開催となります。第8回ビジネス・イノベーション・アワード（B.I.A）2017の表彰式も併せて実施致します。

経営士の認知度の向上及び経営士会の活性化と親睦を図ることを目的に「講演会・論文発表・各種表彰・懇親会」などを行います。



日時：平成29年10月7日（土）

会場：東京富士大学 二上講堂

住所：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-1

包括テーマ

「CSR 経営から共有価値の創造へ」

～「環境経営」「CSR/CSV経営」という視点で
顧客企業の経営体質改善・コストダウン・業績向上
そしてさらに社会的価値と経済的価値の両立へ導く
コンサルティングの強化～

東京支部一同、皆様の参加をお待ちしております！

INDEX

「対談」 櫻田厚氏 × 青木幸江会長	2
第51回全国研究会議 in Tokyoのご案内	6
女性経営士の会 N J K活動報告	7
理事会通信 / 寄付講座 産能大学寄付講座終了に思う	8
「企業と経営士」アワード受賞企業と経営士	10
「寄稿」 武術と健康に関する話 第2回	12
委員会活動	
環境CSR事業部	14
生産研究会発足について	16
覆面座談会「中小企業は悩みがいっぱい?!」	18
MPP高単位保有者一覧	21
「会員の輪」会員紹介	22
会員広場	
プロレスと経営 第3回	23
九州支部会員の活動報告	24
アトランタからの便り	25
支部活動報告	
東北支部	28
北関東支部	30
埼玉支部	32
南関東支部	34
中部支部	35
近畿支部	36
台湾支部	38
試験・講座のご案内/支部研究会のご案内	39
広告/インフォメーション	40
広告	41

マネジメントコンサルタント (Management Consultant)

発行所：一般社団法人日本経営士会

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F

Tel : 03-3239-0691 Fax : 03-3239-1831

<http://www.keieishikai.com>

Copyright©2017 AMCJ. All Right Reserved. Design:Kenichi Aoki & ZENT Inc.

対談

櫻田厚氏 × 青木幸江会長

特別インタビュー：櫻田 厚様(株式会社モスフードサービス 代表取締役会長)

インタビューアー：青木 幸江会長

櫻田会長と青木会長は高校時代の同窓生。今でも、交流があり、時には仲間を交えて食事やお酒を楽しむこともあるそうです。和やかな雰囲気の中、インタビューは8月8日(火)モスフードサービス様の会議室で行われました。

■ 生活苦に直面した高校時代

青木：モスバーガーは、ことし45周年だそうですね。日本の味を大切にしたいハンバーガーを作るという理念で、創業者である叔父様が立ち上げたと聞いています。当時のお話をお聞かせください。

櫻田：高校二年生の時に父が脳卒中で突然亡くなりました。私の高校は進学校だったので、大学進学は当たり前前のコースとなっていました。しかし、私の家は、状況が一変します。母が急ぎょパートに出ることになり、また、私も当時蒲田にあった東急ビルの「ニュートーカー」で皿洗いをしながら家計を助けることになりました。時給100円からのスタート、5時間働いて一日500円。一ヶ月で数万円を稼ぎ家計を助けてました。学校では部活動にも参加していたのですが、それは諦めざるを得なかったですね。

そのような生活をしているなか、先生から進路を聞かれました。学費の安い国立大学に行きたかったのですが、そのような状況で勉強もままならない。学力と釣り合う私立大学は学費が高すぎる。そこで進学は断念して就職をすることになりました。嬉しいことに、「ニュートーカー」の高橋さんという方がアルバイトから正社員になれるようにしてくれました。

しかし、その話を母に伝えたところ、大反対されてしまったのです。当



時はまだ、今ほど外食業界の認知度が高くはない時代でした。やむなく「ニュートーカー」のお話は辞退し、改めて三社の就職試験を受けることになりました。三社とも内定を頂き、そのなかの広告代理店に就職することになりました。

就職して二年たったころ、叔父から「ハンバーガーの店を立ち上げる」との電話が来ました。現在のモスバーガーですね。半年ほどの引き継ぎ期間の後、広告代理店は退社し、叔父の事業を手伝うことにしました。アルバイトでの入社でしたが、これは自分で選んでのことです。創業時のモスは月給以外、正社員の労働条件が決まっていませんでした。そして従業員は、文字通り朝から夜まで働くことが当たり前、つまり正社員の月給を働いた時間で割り返すと、アルバイトの方が得だったのです(笑)。

■ 一号店の評判と、大手チェーンの襲来

青木：創業のころは、会社にとってのピンチが何度か訪れたとお聞きしておりますが。

櫻田：モスバーガーが開店したのは昭和47年(1972年)です。私はアルバイトで入社し、その後、成増一号店の店長となりました。当時は12席ぐらいの小さいお店でした。評判も上がってきており、さあこれからという矢先、マクドナルドが私たちの店舗の近所に10倍大きいお店を作るとの情報が入ってきました。昭和53年(1978年)のことです。

不安にかられたのですが、創業者は「やることをやれば何も恐れることはない」と言います。私は自問自答し、三つの回答にたどり着きました。それは、1. 店内をきれいにする 2. 気持ちを込めて作る 3. お客様と元気に会話をしていくということです。

さて、マクドナルドの営業開始当日、朝7時にお店を開いた途端、意外にも私たちのところにお客様がたくさん訪れてくれました。ランチも賑わっていましたが、一番嬉しかったのは15～18時半の間の時間帯に地元の小・中・高校生が来てくれたことです。

戦後、子どもたちにとっては駄菓子屋が一つの大切な居場所でありコミュニティとなっていました。成増の商店街ではモスバーガーがその役割を務めていたということです。子どもたちは放課後店に寄って小腹を満たし、店員に勉強を聞いたり、遊んだりしていた。携帯電話もなかったころ、親御さんからは、「モスバーガーにいるなら安心」という信頼を得られていました。街の人たちは大々的に宣伝されている大手チェーンでなくモスバーガーに来てくれた。私は、厨房で思わず嬉し涙を流してしまいました。この日を忘れることはありません。商売に必要なのは「心」だということを、お客様が教えてくれました。

■ 高齢者を積極採用

青木：創業時から、大切にされているものをお聞かせください。

櫻田：叔父である創業者は、愛を大切にしてきました。私は、社員には血のつながりがある家族のように接していきたいと思っています。システムティックなやり方でなく、人と人のつながりこそが大切だと思います。

その理念は加盟希望者との面談にも反映されています。フランチャイズを希望する人たちは自分の夢だけでなく、生活をかけ、財産を投入しますからとても真剣です。一方の私たちはモスバーガーの価値観・哲学を理解する人と一緒に経営していきたい。さまざまな対話を繰り返し、契約に至るまでは一年程度を要します。年間2500人程度の面談で残るのは20人程度の年もありました。大変な採用過程を経てきた方々とは家族のような関係を築きたいのです。

青木：モスバーガーでは高齢の方が多く働いていますね。

櫻田：日本はこれからますます少子高齢化に向かいます。でも高齢化はネガティブなことではありません。地域コミュニティが密だった昭和の時代を生きた人たちは、そこで人と人の関わり合いや、優しい気持ち、感謝の心を学んだのです。高齢の方は、レジ打ち等の機械の扱いはおぼつかないかもしれない。しかし、言葉使いや親切な応対、飲み過ぎたお客さんに思わず「早く帰りなさい」なんて言うてしまうおせっかいも含め、現代の人々にはできない心のこもった接客ができます。60歳以上の店員が20%を超えているお店もあります。

■ 経営戦略は変わっても、経営理念は変わらない

青木：高品質を維持し、安売りをしないことのご苦勞をお聞かせください。

櫻田：390円、380円のセットなど、他社がディスカウント戦略を仕掛け、ハンバーガーの値段が下がった時期がありました。ディスカウント戦略では、勝つのはリーダーだけです。私たちが価格競争に乗れば、利益率は下がり、フランチャイズの経営を圧迫します。そして何より、下がった価格はそう簡単には戻りません。ニッチャーである弊社は別の戦略を取らざるを得ないのです。

一度だけ、モスバーガーが創立30周年感謝セールとして一週間ほど価格を下げたことがありましたが、お客様からは苦情が殺到しました。モスバーガーに求めているものは低価格ではないのです。また、「ファストフード」とは1分以内に物が出てくることを言いますが、モスバーガーでは6分程度を要します。ハンバーガーという同じものを扱う業界には属してますが、弊社はファストフードではないのです。経営戦略や戦術は時代によって変わっても、経営理念だけは絶対に変えてはならないのです。

青木：アジア進出に関してのエピソードをお聞かせください。

櫻田：38歳の頃、ある日突然創業者から、台湾の企業と一緒に台湾でモスバーガーを展開すると伝えられました。まずは行ってこいと言われ、台湾駐在の生活が始まりました。最初は通訳が一日中ついていたので不自由はなかったのですが、商談の際の会話のテンポはとても悪かったです。私自身も言うべきことが正しく伝わっているのか疑心暗鬼でした。

そうした日々を過ごすうち、ある日突然台湾のパートナー企業の人たちから言われたのです。「櫻田さんには愛を感じない。言葉を覚える気もないようだし、台湾のことを知ろうともしない。私たちは櫻田さんと一緒に商売を成功させたいのに」と。私は、どこかで日本での成功事例を振りかざして、上から目線だったのかもしれませんが。

次の日から通訳を外す決心をしました。でも、いざ通訳がいなくなると何をするにも不自由です。身振り手振りや筆談で、言葉が伝わらない苦労を重ねながら、まずは単語を覚え、文法を覚え、半年ぐらいしたら何とか会話できるようになりました。人間追い込まれたら能力を発揮できるものですね。当時の台湾立ち上げのメンバーとは今も交流が続いています。

青木：ずばりモスバーガーが必要としている人材像をお聞かせください。

櫻田：私は今年65歳です。65年生きてきて思うのですが、人間社会で生きていくためには人が好きでないといけないと思うのです。他人にレッテルを貼らず、自分の目に網掛けをしないで、人を好きになっていける人が必要です。

母からは、素直さと謙虚さが大事であることを口癖のように伝えられました。それを実行するためには、「聞く」ということが大切です。斜に構えて物事を見るのではなく、ストレートに物事を見ていくことも大事です。私は講演をさせていただく機会も多いのですが、とても良く聞いている人、聞いたふりをしている人、居眠りをしている人、の三パターンの人がいます(笑)。人を見る力をつけていくことも大事ですね。

青木：本日はお忙しい中お時間を頂きましてありがとうございました。

櫻田：ありがとうございました。



全国研だより

第51回 全国研究会議 in Tokyo

皆様のご参加をお待ちしています

いよいよ一か月後の10月7日(土)に、全国研究会議 東京が開催されます。

今回は、51回目と半世紀を超えての第1回目の記念すべき会となります。

そこで、わが経営士会を取り巻く社会・経済情勢に鑑み、以下のような企画で開催いたします。会員皆様のご参加を心よりお待ちしております。(前回の会報誌に、申込みの為のはがきとファクシミリ用紙を同封しています。まだ申込みされていない方は、ご利用いただき至急お申込みください)。

皆さまのお客様も是非お誘いの上、ご参加ください。(参加申込みは、日本経営士会ホームページからお願いいたします)。

また、お客様へのご案内用に、ホームページに案内チラシがありますのでご利用ください。

<http://www.keieishikai.com/index.php>

第51回全国研実行委員長
東京支部長 鈴木 和男

第51回
日本経営士会全国研究会議 in東京

CSR経営から共有価値の創造へ
～「環境経営」「CSR/CSV経営」という視点で、顧客企業の経営体質改善・コストダウン・業績向上、そしてさらに社会的価値と経済的価値の両立へ導くコンサルティングの強化～

2017年10月7日(土)
午前 10:30～12:00 午後 13:00～17:30 交流懇親会 18:00～20:00

講演会
「国連持続可能な開発目標SDGsと我が国・企業の対応」
基調講演 国連グローバル・コンパクト ボードメンバー
富士ゼロックス株式会社 元代表取締役社長 **有馬利男様**

特別講演 「2014年度アワード受賞企業のその後～見事なCSVの達成に向けて～」
株式会社弘久社 代表取締役社長 **平野芳久様**

研究論文発表会
交流懇親会

◆第51回全国研の主な特徴◆

- ・会期は、一日間
- ・参加費は、会員：10,000円
一般参加者：5,000円
- ・エキスカージョンなし。
- ・研究論文3件、経営士会女性の会(NJK)の発表を参加者全員で聞く。
- ・従前のホテルでの開催でなく、大学での開催。

開催場所
東京富士大学 二上講堂
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-1
主催・問い合わせ先・お申し込み先
一般社団法人 日本経営士会
東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル 5F
TEL: 03-3239-0691
協賛 学校法人 東京富士大学

参加費用 (研究論文集代・交流懇親会費含む)
会員参加費：10,000円
一般参加ご優待：5,000円

主管：東京支部
実行委員長：鈴木 和男
<http://www.keieishikai.com/index.php>

スケジュール

午前 10:30～12:00

- 開会式
- 講演会

基調講演：有馬利男様(国連グローバルコンパクトボードメンバー・富士ゼロックス株式会社 元代表取締役社長)
特別講演：平野芳久様(株式会社 弘久社 代表取締役社長)

午後 13:00～17:30

- アワード表彰&受賞者(代表)スピーチ 13:00～13:30
- 研究論文入賞者発表&表彰 13:30～14:00
- 論文① 14:00～14:40
- 論文② 14:40～15:20
- 休憩 15:20～15:40
- 論文③ 15:40～16:20
- 女性経営士の会NJK with 東京富士大学学生 16:20～17:10
- 全国研閉会挨拶 17:10～17:30

交流懇親会 18:00～20:00

- 会員表彰

女性経営士の会NJK活動報告

○7/18 『巨大市場とインドその素顔を知る』の題材で日本とインドの架け橋を担う「(一社)日印女子フォーラム」のディレクター、ラビーナ・ポールさんの講演
中部大学経営情報学部教授、工学博士、経営士の児玉充晴氏による『情報化時代の上手な市場開拓法』のレクチャーを開催いたしました。平日にも関わらず満員御礼でした。



予告 来年は、2018/7/18に中部大学大学院卒MBA塩崎敦子氏(株)エステム代表取締役社長による成長企業への取り組みをテーマに講演いただきます。

○今年も、NJK主催女性リーダーによるMPPが開催されます。

山梨、埼玉、山形、横浜につづき今年は茨城でお会いしましょう！

2017 Woman MPP in いばらき

9/3(日) 12:30受付開始 13:00～17:30

参加費：2000円(当日受付) 終了後別会場内にて懇親会(別料金)

会場：ひたちなが商工会議所(常磐線 勝田駅 徒歩7分)

交通：茨城県ひたちなが市勝田中央14-8

只今、申込み受付中！

これからのNJK

- ・10/7(土) 全国研究会議 in 東京 東京富士大学学生とNJKとのセッション
- ・10/29(日) 東京ウイメンズプラザでNJK活動報告と講演『働きやすい職場づくり』をテーマに青木幸江会長に講話をお願いしています。

○NJKは男女の差なく、会員が活躍できる機会を増やすお手伝いをしています。

○NJKとコミュニケーションの輪を広げましょう。コラボ希望の支部随時募集中。

【お問合せ】TEL：090-1812-9812 島影(bzu03624@nifty.com)

理事会通信

＜平成29年度 第2回定例理事会＞

1. 日 時：平成29年6月23日（金） 12：30～13：30
2. 会 場：本部会議室

◆審議事項

第1号議案：経営士承認の件

全会一致をもって16名全員が経営士に承認された。（その他：再入会1名承認）

第2号議案：MPP・リーダー研修ガイドライン等一部変更について

MPPリーダー研修ガイドライン等で現状にそぐわない個所の変更、訂正の提案があり、全員異議なく全会一致をもって承認された。

◆報告事項

①第63回定時総会運営について

定時総会会場変更の確認があり、第二号議案の議決事項に関しては、出席者の賛否をカウントし、正確を期する決議を取ることが報告された。

以上

寄付講座

今年の産能大学寄付講座（産業研究Ⅰ）終了に思う

残暑お見舞い申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、益々ご活躍の事と心より感謝しております。

今年も、皆様の多大なご指導を賜り、産能寄付講座を無事終了出来ました事をご報告させていただきます。

講座の申込者は、30名と多く、その中の4割は女性です。

「いよいよ当会と女性の時代」と、青木幸江会長が受講生に挨拶されていた内容が心に残りました。

今年の講座の特長として、特に講座内容と、各テーマの深掘された積極的なプロコンサルの話が多くなり、受講生からの質問も多く各講師は大変喜んでおりました。

日本経営士会の案内は、MPPと交流会の場を上手に活用して行いました。その結果、経営士会への入会希望者も多くありました。

多くの会員増強に取り組んで、全会員の総力を結集して頑張っていこうではありませんか。

(担当者 佐藤 富夫)



(授業風景)



(高橋栄一講師の講義)



(皆でMPPのまとめ作り)



(MPP発表)



(鈴木飛雄馬講師の講義)



(受講生と講師)

企業と経営士

アワード受賞企業と経営士 ～常に改革に取り組む～

高橋 栄一(南関東支部)

【当社の概要】

①社名：(株)フジ・プロダクト ②代表者：陶山典之 ③住所：神奈川県秦野市 ④資本金：
50,000千円 ⑤従業員数：40名(グループ合計60名) ⑥年商：5億円(グループ合計15億円)
⑦グループ会社数：3社 ⑧営業品目：船舶部品、金属加工の生産と販売

「高橋さん、台湾に製品を輸出したいので、支援してほしい」と平成11年2月、陶山現会長から、私の自宅に電話がかかってきました。

自社製品を日本国内では行き詰まってきたので、海外で販売したいとの相談であった。私は「台湾は東南アジアのテストマーケットとしての取組みに賛成です。台湾に5年半駐在していたので、支援ができます」と回答しました。

早速陶山会長と台湾に乗り込んだ。現地では私の勤務時代のOB社員の協力を得て顧客開拓を開始しました。

輸出原価の計算、輸出手続きなどを手探りで悪戦苦闘しながら取り組んだ。日本製品は優秀だということで取引が始まりました。

その後、海外輸出が有望であることがわかり、輸出専門の別会社を設立し、英語が堪能で、貿易実務がわかるフィリピン人2名(現在は9名)を採用して、ギリシャ、中近東、フィリピンなどの国々への輸出に取り組んでいます。

当社のビジョンは「世界制覇を目指し、差別化製品の開発と販売」に向かって活動を行っています。平成12年に、中小企業新活動支援法に基づく「経営革新計画」の承認制度を提案したところ、社長から早速「新鋭機械を導入して、新しい生産方式を導入したい」との支援要請があった。承認を受けた会長は大変喜ばれ、承認書を自宅まで見せに来られた。秦野市では1号の承認であった。信用金庫の担当者は当制度を知らなかったが、流石に政府系金融機関は知っていて、すぐに来社され、取引が始まりました。

当社は以降経営革新計画4回承認を得ています。それだけ経営革新計画の取組みが熱心であるということです。

平成25年10月に開催された日本経営士会全国研究会議・横浜大会で「ビジネス・イノベーション・アワード大賞」を受賞することができました。



(台湾サプライヤーとの交流会)

受賞の理由は「バブル崩壊後の経済低迷を機に、自立経営を目指して経営改革に着手し、何度か中小企業新活動支援法など国の制度を活用して、自社製品比率を20%から75%に、また海外販売比率を1%から44%に、そして売上高を2.5倍に成長を遂げた」ということでした。受賞は地元マチコミ紙の「タウンユース」と全国紙の「交通毎日新聞」に報道され、知名度アップにつながりました。

受賞報告を秦野市長・古谷義幸氏に平成25年12月行いました。市長から「本市の名誉であるので、今後共頑張ってもらいたい」と激励されました。古谷市長には、受賞報告を機会に平成26年3月と平成27年7月に工場見学していただきました。



(左から陶山社長、古谷市長、陶山会長)



(古谷市長の工場見学)

当社にはグループ会社が3社あり、将来の工場長候補の育成研修を提案し、日本経営士会南関東支部・小林前支部長他の会員を講師に平成26年10月から6ヶ月間実施しましたところ大変好評でした。

国のものづくり補助金の申請を行い、2回獲得しました。

また平成27年2月には、ある特許権を持っている企業と連携し、製品化の量産化で関東経済産業局より新連携事業の認定を得ました。



(工場長候補研修修了式)

これらの申請書の作成を通じて、社長や工場長の経営に対する意識が高まってきました。

会長の長男が当社の社長に就任し、また海外輸出商社の(有)アークマリンサービスは28年8月の社長候補として会長の次男が入社し、事業継承に取り組んでいます。本年3月よりグループ経営陣の育成を図るために経営会議を毎月開催し、年度実施事項の取組み進捗や直近の試算表、経営課題の解決策の検討を行っております。社長以下の経営幹部は毎月のように海外出張し、スローガンに添ったグローバルビジネスの実現に向けて活動を展開しています。

当社にとって経営士の役割は、①経営課題の相談相手になる、②国等の中小企業支援策の情報の提供と活用の支援者である、③事業発展の提案者である、④教育講師であることなどである。要求品質がどんどん上がってくるので、毎日が勉強です。

平 直行

日常の動作が健康を決める。

歩くという運動は日常で一番多く行う運動であるかもしれません。1日一万歩歩くと健康に良いと昔から言われています。江戸時代以前の日本人は一日の移動距離は10里(40km)が基本でした。歩数にすると一体何歩になるのでしょうか？古流の武術を学ぶと、古い時代、古流武術が盛んだった日常も学びます。当時の武術家たちの日常の暮らしを知らなければ、当時の技を学ぶ事は難しいからです。一日10里の移動は、決して難しくなく、むしろ楽な距離だったようです。宿場を10里毎に設置すれば経済が回ります。経済を回す範囲が10里毎の宿場町であっただけで、本当はもっと楽に長い距離を歩けたようなのです。

その証拠に箱根の宿場の設定も10里毎になっています。10里が限度だったら、険しい箱根の移動はもっと短い距離で設定されたに違いない。箱根でも10里ですから、おそらく10里は体力ではなく経済的な理由での設定だったのでしょうか。現在の我々の常識で考えれば10里を歩くことは絶対に無理としか思えない。ところが実際に宿場町の設定は10里毎ですから、我々に想像出来ないだけで真実なのです。

歩くという、日常で一番行う動作がこれだけかけ離れば、当時の体力と健康そして総ての身体能力は現代からは想像も出来ない物だった事は間違いがないと思われれます。しかしながら、毎日の移動を徒歩で行うだけでこれだけの圧倒的な体力の差が生まれるのでしょうか？おそらくそれも間違いであると想像出来ます。僕の学ぶ流儀では始めに歩き方を徹底的に学びます。そのどれもが、ヘンテコリンな、絶対に日常では行う事がないような歩き方。不思議でヘンテコリンな歩き方を昔は徹底的にやったそうです。不思議でヘンテコリンな動きが現代のスポーツ科学や医学でも発見しない体の潜在能力を引き出してくれます。きちんとやれば素晴らしい運動能力が生まれる。それなりにやるだけでも十分に健康になる。まるで嘘の様な運動は、江戸時代以前の日本人の暮らしぶりにヒントが隠されています。

江戸時代の日常は現代の想像を遥かに超える。

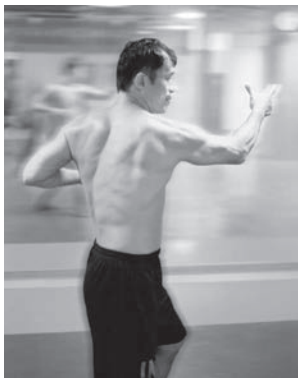
江戸時代の末期から明治の初期にかけて日本を訪れた諸外国の人々は一様に驚き、母国に記事を送っておりその記事の記録も残されています。江戸から日光まで旅行をした際に、人力車と馬と一緒に走り、人力車の方が圧倒的に体力で勝った話は割と有名で御存知の方もいるかもしれません。江戸時代の景色、人々の暮らしは絵画として残されています。それを見ると現代の知識とは違った事実が気が付きます。大名行列の描かれた絵画を見せて頂いた事があります。数十枚の屏風に描かれた大名行列を繋いで見ると当時の様子が偲べれます。

大名行列は数百人もの人数が描かれ、みんな楽しそうに歩いています。まるで散歩や遠足でも

するような笑顔で歩いています。一日10里の移動とは思えません。一日10里の移動は当時大した距離ではなかったのでしょうか。大名行列で、大名は籠に乗るにしても残りは徒歩で移動です。ギリギリの体力で毎日移動して、もしも敵に出くわせば危険なのです。おそらく十分に余裕を持った移動距離が一日10里。これは間違いないと思います。

笑顔で歩く人々は重そうな荷物を持っています。必用な荷物は総て自分たちで運ぶのですから当然そうなります。重い荷物を持って一日10里の移動。現代からは全く想像が出来ない体力の秘密とは、、、屏風の画を見ると殆どの人が裸足で歩いています。草鞋を履く人はほぼいない。日常の当たり前の景色を描いた物ですから何も嘘を描く必要はない。これが真実なのです。

江戸時代の人々は基本裸足で日常を過ごしています。裸足で舗装されていない道を歩く。これが驚異的な歩く能力の秘密です。人は骨格で体を支え、骨格の動きと筋肉の動きが調和する事で体の能力を発揮します。裸足で足指から地面に着くことで初めて人は歩くという運動を正しく行う事が可能になります。靴を履いて舗装道路を歩けば、どうやっても正しくない歩き方になってしまうのです。足の指から骨格と筋肉が正しく連動して歩くと、人は一日10里を簡単に歩く事が出来るのでしょうか。現代の人々が着ると動きにくいと言われる着物。着物を着慣れるとかえって動きやすいと言われる。着物は手足を動かすとともにすぐに肌蹴(はだけて)しまいます。着物を肌蹴させないで動くには、手足を奥から動かす必要がある。日常的に着物を着て過ごすとは小指先の動きではなく体の奥からの動きが自然に身に付きます。体の奥から動くとは自然に体の動きの効率が高くなり、身体能力が高くなります。高い身体能力は体を十分に上手に動かすと言うことなので肩凝りや腰痛は極端に少なくなります。江戸時代には道普請という事業がありました。定期的に道を大きな丸太で馴らすのです。日本は火山灰土ですから定期的に上から固めればとても歩きやすい裸足でも歩ける道が維持出来るのです。道を裸足で歩くので、道も家の延長のような物でした。日本人は道に物を捨てるなど決してしなかった訳です。江戸時代末期から明治初期に日本を訪れた諸外国の人々は町の清潔さ、綺麗さにも驚愕しています。町も家の中のように綺麗に整理整頓されている。このような文章が残っています。裸足で着物を着て、家の外も家の中のような感覚で常に過ごしたかつての日本人。そこに現代からは想像も及ばない、健康と町の秩序、そしてそこに暮らす人々の笑顔が有った訳です。この時代の健康を、全く変わった環境で生活を営む現代に蘇らせる知恵がサムライメソッドやわらぎになります。時代の変化による環境の変化は、道を例にとっても、現代では知られないどころか想像もつかない程です。その誤差に気がつかず錯覚していることが現代の運動と健康に関する隠れた問題点だと思います。錯覚とは別の世界です。それが故に間違いに気がつきにくいのです。今回は運動と健康に関する錯覚に関して書きます。



平 直行：

日本の男性総合格闘家、格闘技レフェリー、元シュートボクサー。
宮城県仙台市出身。

ブラジリアン柔術アカデミー「ストライプル」代表。

現在、ブラジリアン柔術、総合格闘技、空手などを教えている。

漫画「グラップラー刃牙」(板垣恵介)の主人公、範馬刃牙のモデルとなっている。

HP <http://strapple-taira.com/>

Wikipedia <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B9%B3%E7%9B%B4%E8%A1%8C>

委員会活動

環境事業部が「環境CSR」出前事業を開始

環境CSR事業部

環境事業部は「環境経営士養成講座」の実施とコンパクトエコシステム(CES)（環境マネジメントシステム EMS)の普及の2本柱で活動を行ってきました。

しかし2年前位からでしょうかISO14001 エコアクション21、エコステージ、KESなどどのEMSも普及が伸びないどころか退出の傾向があります。このようなこともあり当環境CSR事業部は今年度からCSRも組み入れたシステムの普及活動を実施することにしました。「コンパクトCSR(CCSR)」と呼称します。

この普及活動の一環でもありますが下記の様な環境CSRシステムの社内教育を試行することとしました。環境経営士に活動の場を広げるための一環でもあります。

今年度中に下表の様にトライアルを1社以上行いノウハウを積みたく考えています。

心当たりのある企業があれば日本経営士会本部にご一報ください。

電話：03-3239-0691 Eメール：office@keieishikai.com

環境CSR事業部の新企画

環境CSR経営教育

環境CSR経営は企業にとっては必須の要件となりつつあります。一般社団法人日本経営士会は長年培った経営コンサルタントのノウハウと豊富な人材で環境CSR経営教育の出前授業を実施します。

この研修キットは下表の内容です。

2017年度中にトライアル企業を募集。トライアル企業に応募される場合は本部にお問い合わせください。初級、中級、上級のいずれか又は全部かをご指定ください。また時期はいつでもご知らせ頂ければ幸いです。

標準研修表（社員受講生が20人以内を想定 21人以上の費用は別途ご相談を）

クラス	内容	時間	研修費用 (トライアル)
初級	環境保全に関する基礎的知識・地球環境問題と国際的対策・日本の環境問題と国内対策など	7 時間	200,000 円 (20,000 円)
中級	企業への環境保全活動の助言・支援に必要な知識等・企業における環境保全の取組・環境関連法規制と補助金・助成金、環境マネジメントの基本・各種環境マネジメントシステムの解説・環境報告書の作り方・環境教育のすすめ方・CSR 等 コンパクトCSR の説明 (CCSR)	14 時間	400,000 円 (40,000 円)

上級	日本経営士会が開発した環境マネジメントシステムであるコンパクトエコシステム（CES）導入模擬演習 同じく環境・CSRシステム導入模擬演習。	7時間	200,000円 (20,000円)
----	--	-----	-----------------------

- 注)●使用テキストは日本経営士会 環境社会創出委員会発行の「環境と経営」パワーポイントを使用、それぞれのクラスを修了すれば、修了証を発行。中級まで修了し所定の手続きを経れば「環境経営士」の資格が取得できる。
- 上級は環境マネジメントシステム導入模擬演習ですが、CESを導入希望社には別途対応する。CESの詳細は「コンパクトエコ」で検索を！ <http://www.compact-eco.com>
 - 研修費用は日本経営士会の「経営士報酬例規」とこの種の出前授業の価格を参考にしました。旅費・交通費は別途 2人の講師が担当。
 - トライアル研修費用は2018年2月28日申し込みまでとする。
 - 上表は標準研修内容ですが、お客様のご要望については別途お打ち合わせをさせていただきます。
 - 講師は環境社会創出委員会が認めた環境経営士。

注)コンパクトエコシステム(CES)とは、中小・小規模企業向けに開発された環境マネジメントシステム(EMS)です。従来のISO14001、エコアクション21、KES、エコステージでは費用面、手続き面でもハードルが高いと思われる企業に対して開発されたEMSです。コンパクトCSR(CCSR)も上記CESと同様な考えで日本経営士会が開発しました。詳細は「コンパクトエコシステム」で検索ください。

CCSRのロゴマーク

このロゴが経営士・環境経営士の土橋留美子さんのデザインです。商標登録申請予定。



環境CSR事業部の近況

①全国研への協力

今年の全国研は東京支部が開催し統一テーマも環境CSR関係です。当事業部からも実行委員で参加し特に公報関係で種々の支援をしています。

②環境経営士養成講座開催状況

環境経営士養成講座は本部では奇数月に、任意ですが各支部でも開催しています。この9月で本部開催分は42回となります。

アドバンストコースを受講、テスト合格後翌月には環境経営士資格審査委員会を実施し希望者は日本経営士会に入会し環境経営士となります。この4月以降の審査委員会の合格者は本部、中部、東北を含めて14人です。経営士の方もこれからは環境CSR経営は必須となるでしょうから環境経営士養成講座を受講され環境経営士の資格の取得される様お願いします。

詳細は「コンパクトエコシステム」でご検索下さい。

③環境ニュースの発行

環境経営士の方には月3回「環境ニュース」を発行しています。今年の9月でまる1年になります。ニュースの内容は環境CSR関係は勿論経営コンサルタントに有用な記事を配信しています。8月12日発行で37号を発行しました。環境経営士になられたら記事の募集も行い希望者には寄稿者名も入れますので自分の公報にも役立つでしょう。

(環境CSR事業部 福井 浩)

生産研究会発足について

会員番号 209 平山 道雄 (生産部会)

日本経営士会の特徴の一つとして、かつては部会活動が盛んであり、部会間の交流も少なからず行われていましたが、この活動が途絶えてから久しい状況にあります。そこで担当理事の承諾を得て「生産研究会」を立ち上げることに致しました。実施するに当たっては全員が参加できることを願って、日本経営士会の会報である「マネジメントコンサルタント」誌を下記の要領で活用させていただきます。

運営方法

生産部会会員の全員が研究会員であり、定期的に経営士会本部に集まれる方々数名が世話役となり会合を持つ。

各研究会員から生産管理に関する話題や情報・記事を提供して頂き、世話役側で整理して取りまとめ経営士会会報に掲載する。

また、掲載された記事に対しての御意見を提供して頂き、会報を通じて全員で共有する(誌上研究会)。

情報・記事

生産部会会員から生産・ものづくり業種を主な対象にして、生産に関わる話題・管理技法・手法や指導・支援の仕方等について下記の情報や記事を中心に提供して頂き、会報に掲載して会員相互で共有して活用する。

- ① 各自の成功事例、苦労している事例、問い合わせ依頼事項
- ② 今後、生産管理に役立つ手法・技法や生産技術・設備・機器などの情報
- ③ 製品開発・生産技術等に関する情報
- ④ 現代における産業構造の変化情報、トピックス・・・・等

提供は、会員から気兼ねなく出して頂きます(発表は匿名希望も可)。

情報は各自から日本経営士会事務局宛てにご送付して頂きます。

世話役

世話役は当面、平山道雄、山本忠、他数名が担当致しますので宜しくお願い申し上げます。

生産部会所属の会員主体に時代の変革に対応しつつ「生産研究会」を推進し会員を通じて社会貢献に資して行く所存です。皆様方の応援宜しくお願い致します。

<生産研究会通信>

話題・研究テーマをお寄せ下さい

近年の「ものづくり業界」には大きな変革の波が押し寄せて来ています。

皆様方は、どのように感じ、その対応をどのように考えておられるでしょうか。

- ① 第1次産業～3次産業の間でコラボというか協働・協力・併合関係が密になってきている。農林漁業と工業では農林漁業がユーザーであり工業側が受注することも自社製品として売り込みをすることもある。
- ② 第4次産業革命が広がる産業界では、部品加工業が製品組み立て業へと進出し、またIT企業がものづくり分野に進出するなど、従来の企業のものづくり形態が大きく変化してきています。中小企業の成長に絶好の機会でしょう。
- ③ IT活用による作業の自動化、AI／ロボット／センサーに持ち込むまでの過程、作業分析・作業組み立て(作業手順)・機械作動から見た自動機の構造などを考える人・これらを夫々の専門家に如何に伝達するかという技法を持つ人が企業内・事業所内に不可欠となってきました。
- ④ 汎用化し難い機械・設備が多く存在することを想定すると、機械・設備の自社開発を軸とした注文生産となります。
発注側・受注側の相互の連携の在り方・考え方が従来の一品生産と大分異なって来るのではないかと考えています。
- ⑤ 汎用機器・設備また遊戯系のものづくり業界では製品の実現化が一層早くなり、社会の要求を逸早く取り入れて開発し各方面に売り込んでいくようになると思われます。
- ⑥ 農業の工業化が進むにつれて産物の均一的育成・設備・安全性・コストなどに関わる管理もAI／センサーの活用が避けられず進展するものと考えます。
- ⑦ サービス業においても顧客対応にロボットが採用される時代となっています。IOT活用による生産性の向上がより期待されます。

この様な大きな変革を想定すると、また多品種少量生産が多品種一品生産になったり、現在でも行われている得意技術を持つ企業間連携が更に大きく発展して行くことが想定されます。今後のものづくり関連に対する支援の在り方・考え方というものが従来と少なからず変化してくるのではないであろうか。

然し技術の向上は元より、機能・品質の満足度を向上・確保しながら生産性向上を目指すことが最重要課題であり、そのための手段としてIOTの活用を取り入れて、企業革新を計ることが大切ではないでしょうか。

この様なことを何気なく考え思い耽って「生産研究会」の話題を色々出し合って、皆さん方と自由にそしてフランクに誌上を通じて意見交換を行うことによりお互いに大きな成果が得られるのではないのでしょうか。これらを期待して「生産研究会」を立ち上げました。ぜひ誌上「生産研究会」をご活用下さい。

参加者：経営士(人事コンサルタント)：経
ベンチャー企業社長：ベ
サービス業取締役：サ
メーカー管理部長：メ

ベ：今日はよろしくお願ひいたします。早速ですが、私の会社は業績が右肩上がりのため、今は積極的に採用活動をしております。

経：人が増えるのは事業拡大させるために必要なことですね。現状維持は結局長い目で見ると事業縮小になりますからね。

ベ：人を採用したらもっともっと生産量上がるかと思ったのですが、現時点では、新入社員が研修期間であるため売上に貢献できておらず、創業以来初の赤字を計上しました。これが続くと拙いなという不安があります。

経：即戦力を採用したとしても、会社や業界に慣れるまでには時間がかかります。即戦力を即戦力として活躍させるためには会社側の一工夫は必要ですね。研修やOJTは実は中途採用にも大切なことです。数ヶ月経っても新入社員が育たない場合は、プロパー社員の指導方法に問題があるのか、それとも新入社員の資質が足りないのか、そこを見極めて対処する必要があります。

ベ：幸いなことに弊社は今注文が殺到しております。弊社の場合、労働集約型ビジネスなので注文増えればどうしても社員に負担が掛かります。社員の悲鳴に応えるために採用をしたのですが、OJT等で新人に割く時間が多くなり自分の仕事を落ち着いてできないとの不満が出てきます。どうしたらええねん(笑)！

経：感情で文句を言っているだけの場合もあるのですぐに反応せずに様子を見ることも必要ですね。

ベ：新入社員は、面接で時間を掛けて採用したこともあって、私の考えを理解しようとしてくれます。一方、プロパー社員は、元々仲間内で始めたこともあって私の考えに対して冷めた態度を取ります。社内に温度差が見られるので何とか対策を打ちたいです。

経：プロパー社員は新入社員に自分のポジションを奪われるかもしれないという恐怖感があるのかもしれない。また、私たちの方が社長のことを良く知っているという優越感があるのかもしれないね。どこの企業も勤続年数が高い社員ほど冷めた態度を取りやすい傾向があります。プロパー社員に火をつけるためには、一人一人に何を与えていくかを見極めていきましょう。人それぞれツボとなるモチベーションは違います。まずは個別面談の時間を作ることが大事です。そしてこれは重要なことですが、個別面談の持ち時間を平等にすることです。不平等は新たな争いの火種を生みます。

ベ：結構、面倒くさいですね(笑)。

経：事業を上手くいかせるためには、社員をおだてなければ動かないのであれば、あえてそれをするのも経営者に必要なスキルですよ。今いる人をどう動かすかがマネジメント。経営者は、阿吽の呼吸で社員と上手くいくことを妄想しがちだけど、そんなマネジメントはあり得ないです(笑)。

ベ：本当は腸煮えくり返っているのに、社員にありがとうって言っている自分がいますよ(笑)。

サ：うちの会社は社長の求心力が強いのです。社員は社長に惚れて入社しているので社長の言うことしか聞きません(笑)。

メ：うちの会社もそうですね。多くの社員は、社長に根回ししてから稟議書上げてきます。その稟議書を却下したら、社長が承認しているから通せ！と社員からの怒りを受けたことがあります(笑)。こういうことが続くと考えることをしなくなります(笑)。

経：中小企業は社長が全ての決裁権を持っている場合が結構ありますね。実は、社長と社員が直接コミュニケーションを取りすぎるとその間にいる中間管理職は育たないのです。組織としての意思決定は早くなりますけどね。

メ：うちの会社ではそれが起きていますね。組織図はピラミッドになっていますが、実は、社長だけ別格として、取締役から新入社員まで横一列フラットです。文鎮型組織ですね。

経：中間管理職が育たなくて困るのは社長自身です。個人商店になるのか、本当の意味での株式会社になるのか、の大きな分かれ目は、権限移譲です。

メ：社長の考えを全社員が理解して仕事を進めていくことが理想ですよ。

経：そうです。だから、松下幸之助にしても稲盛和夫にしても、自身の経営に対する考えを文章という形にして見える化しているわけですね。

ベ：私は外に出て営業する時間が長いのですが、社員には遊んでいるようにしか見えないようです(笑)。一方で、私が仕事を取ってくると社員から不満があがるんですね。私の仕事を増やすな!と。文句ばかりで、かつ権利ばかり主張されると本当に褒める気もなくなります(笑)。

経：社長は社員に批判されることが仕事です(笑)。文句ばかり言っている社員と一緒に営業に出るのも一つの手ですよ。社長が何をやっているか理解ができないから文句言うのかもしれませんが。実際に現場を見れば態度が変わるかもしれませんよ。

ベ：事業を大きくするためには採用が必要なのはわかるのですが、正直言えば、自分の気の合う仲間だけでやっていた時の方が楽だったです(笑)。今は、社員を養わなければいけないというプレッシャーが常にありお酒飲まないと言われ寝られないですから(笑)。

経：いろんなタイプの人を雇うことによって会社は成長しますね。一方で、社長としてはその分苦勞を背負い込む形になりますよね。

ベ：本音で言えば、トップダウンはしたくないわけです。できれば、社員から活発な意見が出てボトムアップしていきたい。社員は、好き勝手なことを言います。しかし、それをあなたが本当にやりますか?と聞くとトーンダウンしてしまう(笑)

経：忙しいですから、とか(笑)。その言葉は、やりたくありません、と同意語ですね(笑)。社員一人一人が有言実行できる環境が理想ですよ。宣言する=コミットする、そして達成に向かっていく。コミットメントをトップダウンで押し付けると、中小企業の場合、結局できませんでした、になるのがオチですね。不言実行というのは組織的にはあり得ないことだと覚えておいてください(笑)。

メ：会社の中に、社長と社員の間をつなぐ架け橋的な役割をする人が必要ですよ。

経：そうですね。社長がいることで社員は安心して働くことができる。一方、社長の本音は社員にもっともっと育ててほしい。そんな社長と社員だけでお互いのベクトルを合わせることは困難。だからこそ私たちのような人事コンサルタントを会社内の潤滑油としてどんどん活用頂けたらと思います。組織の外にいるからこそできることがたくさんあります。

全員：本日は長時間に渡りありがとうございました。

MPP高単位 保有者一覧 (正)

■ MPP高単位 保有者一覧〈通算50単位以上〉 (正)

会員番号	氏名	支部	県会	28年度迄の累計	会員番号	氏名	支部	県会	28年度迄の累計
2958	上野 延城	埼玉	—	380	2323	藤原 義博	九州	大分	86
1108	赤池 知保	東京	—	379	4013	豊田 賢治	埼玉	—	81
3970	塚本 裕宥	北関東	茨城	339	3693	鳥越 國男	中国	広島	81
3053	李 孟熹	台湾特別	台湾	336	4054	神崎 進	九州	福岡	80
4096	阿部 幸男	南関東	神奈川	332	911	鈴木 祥浩	近畿	大阪	78
900	水野 刀治	南関東	静岡	266	3249	松永 準一	中部	愛知	76
2680	日野 隆生	東京	—	249	1868	石黒 不二夫	南関東	神奈川	74
2972	張 銘江	台湾特別	台湾	244	3562	蔡 全智	台湾特別	台湾	74
4418	河上 晃	近畿	大阪	241	3176	桑山 一宏	北関東	新潟	72
209	平山 道雄	東京	—	230	4703	佐藤 昌次郎	近畿	兵庫	72
4303	石黒 芳樹	南関東	神奈川	219	4024	藤島 公平	中国	山口	72
3584	鈴木 健	南関東	神奈川	215	4125	鑄方 貞元	近畿	兵庫	71
4544	近藤 安弘	南関東	山梨	185	1121	中野 澄雄	中国	広島	71
571	太田 能史	九州	福岡	170	2367	茂木 達男	東北	山形	69
4702	瀬尾 寿和	近畿	京都	157	2452	鶴岡 義明	千葉	—	69
2022	磯部 正美	北関東	新潟	155	4348	藤本 賢司	中国	山口	68
3343	邱 炳輝	台湾特別	台湾	154	1112	森川 昇	北関東	栃木	67
4334	謝 明堂	台湾特別	台湾	150	834	高橋 栄一	南関東	神奈川	67
442	渡部 喜政	東北	秋田	144	4994	一瀬 良之	南関東	山梨	67
4262	劉 大椿	台湾特別	台湾	143	4250	近藤 肇	中部	岐阜	66
648	後藤 彦一郎	九州	福岡	138	2306	山本 正樹	中国	岡山	66
4827	林 漢郷	台湾特別	台湾	135	1344	竹沢 悦男	北関東	群馬	64
4595	黄 世欽	台湾特別	台湾	134	3894	田中 實	東京	—	64
3686	鈴木 勇	北関東	茨城	130	5278	宇和野 敦子	近畿	兵庫	63
4516	陳 信安	台湾特別	台湾	128	3355	植木 和宏	四国	高知	63
2421	大内 正雄	九州	福岡	126	4869	臼倉 恵美子	埼玉	—	62
2005	香山 務	北関東	栃木	123	2699	藤倉 恒男	北関東	栃木	62
149	作田 賢一	北関東	群馬	122	4945	江尻 敏彰	中国	岡山	61
2042	木村 泰博	北関東	新潟	121	2979	五十嵐 昭平	東京	—	60
2603	山口 稔	東北	宮城	109	4705	岩井 美喜夫	四国	香川	59
1340	高橋 幸雄	南関東	神奈川	101	3116	伊藤 彰彦	南関東	静岡	57
4802	邱 黎燦	台湾特別	台湾	101	5276	竹岡 栄徳	近畿	大阪	57
4804	陳 木梓	台湾特別	台湾	101	3254	伊藤 三男	中部	愛知	56
2358	佐藤 光子	東北	山形	97	2311	高田 英二	四国	愛媛	55
4760	島影 教子	東京	—	97	2929	山本 英夫	南関東	静岡	54
4930	青樹 道弘	東京	—	97	5179	北原 雅人	近畿	大阪	54
4412	東原 實	四国	香川	95	3753	大久保 一	中国	広島	54
4905	陳 益世	台湾特別	台湾	95	4733	広瀬 典仁	南関東	山梨	53
2041	渡辺 良男	北関東	新潟	94	4997	松永 桂子	南関東	山梨	53
1150	出村 忠廣	南関東	神奈川	93	5106	一瀬 千恵美	南関東	山梨	53
4269	齋藤 誠一郎	東京	—	92	4311	高村 一文	北海道	札幌	52
756	滝沢 壮治	東京	—	91	462	天野 勇	東京	—	52
4984	萩原 玄	埼玉	—	90	5035	曾 為國	台湾特別	台湾	52
4018	松尾 實	東京	—	90	3872	加藤 健二	中部	愛知	51
425	大嶋 祥司	北関東	群馬	88	2256	小林 敏雄	埼玉	—	50
2719	林 久雄	千葉	—	87	3185	大垣 壽雄	北関東	栃木	50
1210	山内 輝光	九州	福岡	87	5117	陳 俊硯	台湾特別	台湾	50

(平成 29年 3月 31日現在)

★お詫び 前回6月・7月号で掲載しました同表の「28年度迄の累計」の一部に誤りがありました。訂正し、再度掲載させていただきます。ご容赦ください。

一瀬 良之(南関東支部)

山梨経営支援センターの一瀬良之(いちのせよしゆき)と申します。南関東支部の金子会員からの紹介で原稿を書く機会をいただきましたので、自己紹介をさせていただきます。

34年間勤めた大手計測器メーカーを早期退職したのは2010年の12月末日でした。故郷の山梨に戻って仕事を探しているときにハローワークの面接のセミナーに参加し、そこで近藤現副会長にお声をかけられ、経営士へのお誘いをいただきました。

山梨で行う最初の経営士養成講座を受講し始めた矢先に東日本大震災に遭いました。後半は計画停電の状況を見ながらの受講となりました。大震災では物理的な被害を受けたというよりもハローワークでの求人内容がガラリと変わり、希望する職種の求人がほとんどなくなり、各企業が「守りに入った」ことを実感したことを覚えています。

県内企業への就職を断念し、山梨経営支援センターに所属して経営コンサルタントとしての活動を始めてからすでに6年が経ちました。

地元の町のお店、ご近所の人々、そして同級生たち。長い間故郷を留守にしていた私を温かく迎えてくれたことに少しでも報いるために、できるだけ地元へのお手伝いをさせていただこうと決意しました。

二年間の組長経験のあと6つの組を束ねる区長を拝命して今年で四年目になります。自主防災会による避難訓練や区民親睦のためのグランドゴルフ大会などを主催しています。

他にも自治公民館の主事、地元神社の事務方(現在は副総代)、三年前に復活させた地元の盆踊り大会の事務局兼MC、中学校同窓会の代表幹事などをやらせていただいています。また昨年防災士の資格を取得し、毎月地元の有志と防災・減災についての勉強会を行っています。

さて山梨経営支援センターではMPP活動を活発に行っています。春と秋の二回、それぞれ8回から10回ほどの公開MPPを開催し、山梨だけでなく他支部の会員や一般企業の方にもご参加いただいています。

「できるだけ新しいテーマを取り上げたい」という考えから、近畿支部などで作成したトライアルケースも積極的に実施し、フィードバックを返すなどしてまいりました。また普及活動リーダーを増やし、山梨経営支援センターとして、一般企業・団体様へのプログラムなどにもMPPを組み込んだ提案をしてまいりました。MPPの普及活動を広めつつ、今後も山梨独自の一般企業・団体様への提案をすべく努力してまいりたいと思っています。

皆様もぜひ機会がありましたら、山梨で開催するMPPにご参加くださいますようよろしくお願いいたします。

◆次回はMPPつながりで、近畿支部の北原雅人会員にお願いしたいと思います。



(山梨 春季公開MPPより)

堺 剛

前回までは1950～60年代の日本プロレス史を時系列で書いた。今回はちょっと小休止して1984年頃のことを書いてみたい。80年代初頭は猪木率いる新日本プロレス、馬場率いる全日本プロレスの二強時代。第三団体と呼ばれていた国際プロレスは81年に倒産した。

新日本プロレスはタイガーマスクが大ヒット。タイガーマスクと猪木の二枚看板により新日本プロレスブームが起こった。なお、80年代初頭の金曜日20時は、日本テレビの太陽にほえろ、TBSの金八先生、テレビ朝日のワールドプロレスリングがしのぎを削りあっていた。それぞれが20%代の視聴率を誇っていたのだからある意味のどかな時代だったのかもしれない。

業績が好調な時ほど落とし穴があるものである。猪木はブラジル政府を巻き込んだ大規模事業『アントンハイセル』に傾倒していく。これはブラジル国内で収穫されるサトウキビの搾りかすを有効活用するための事業であった。『アントンハイセル』により世界のエネルギー問題や食料問題を解決したい、という猪木の夢こそが新日本プロレスにとっては不幸の始まりであった。新日本プロレスオーナーである猪木は収益の相当分を『アントンハイセル』に投下したと言われていた。また社債を発行し、社員を中心とするステイクホルダーから資金調達をしていたようだ。

新日本プロレスブームであるにも関わらず給料が上がらない選手達の不満は収まることなくクーデターが起きた。その余波を受け、新日本プロレスブームの立役者である初代タイガーマスクは2年4ヶ月という短い期間で引退してしまった。猪木を退陣させ勝利したかに見えたクーデター派は、テレビ朝日重役の「猪木が辞めたらテレビ朝日は放映を打ち切る」の一言であっという間に力を失った。猪木は社長に復帰しクーデターは鎮火した。しかし、一度壊れてしまった人間関係が戻ることは容易ではない。儲かっている時期に社員に還元しなかったことにより、猪木と社員の間埋めようのない溝ができた。

猪木の側近である新聞寿は、猪木の新たな受け皿としてユニバーサル・レスリング連盟(UWF)を水面下で設立した。猪木がUWFに移籍した際にはフジテレビが放映を行うことになっていたとの説もある。引退したタイガーマスクもUWFに参加するとの噂があった。

UWFは1984年4月11日に大宮スケートセンターで旗揚げ戦をすることを発表した。宣伝ポスターには、猪木を始めとする新日本プロレス主力選手やハルク・ホーガンやアンドレ・ザ・ジャイアント等のトップ外国人レスラーが掲載された。2017年であったら、虚偽もしくは誇大広告で訴えられたことであろう。結果として、UWFには若手のホープ前田日明の他、中堅レスラーが参加するにとどまった。なお、前田は「猪木さんから、俺も後に行くから先に行ってくれ、と言われたので移籍した。」と発言している。

旗揚げ戦は異様な空気の中行われた。ポスターに掲載された選手の大半は出場していなかった。そのことに対する客席の不満がメインイベントの前田日明対ダッチ・マンテルの試合で爆発。猪木コール、長州コール、藤波コール等が飛び交う中、前田は屈辱の勝利を得た。

旗揚げシリーズは路線が定まらない状態であったが、前田の師匠である藤原喜明と弟分である高田伸彦(当時)の特別参戦をきっかけに、関節を取り合うレスリングにUWFは傾倒していく。テレビ無、知名度無、資金無、の零細企業は、プロレスの原点に立ち返ることで他団体との差別化に成功した。そしてUWFが生まれたからこそ、90年代後半に格闘技ブームが起こったと言っても過言ではない。(続く)



堺 剛：

株式会社バーニングスピリッツ代表取締役。環境経営士。

全国理容生活衛生同業組合連合会、バンダイビジュアル株式会社において経理を学んだ後、外資系企業で経理マネージャーを務める。2017年、中小企業の経理受託業務、ノベリティ企画製作、業務改善サービスを提供する株式会社バーニングスピリッツを設立した。

ホームページ：<https://www.burningspirits2017.com/>

E-mail：tsakai@burningspirits2017.com

九州支部会員の活動報告

この度、九州支部鹿児島県会 会員 源元淳也氏が、龍郷町の監査委員に任命されました。

鹿児島県大島郡龍郷町6月議会において、町当局から提案された「監査員選任同意を求める同意議案」で、源元淳也氏が推挙され、議員全会一致で同意を受けました。

当局側の推挙理由は次のとおりです。

源元淳也氏は、日本経営士会の経営士としての資格をもち、永年、民間の会計や税理士事務所に勤務された後、現在は、自ら事務所を立ち上げ本町においてご活躍されており、監査をする上での税務、会計知識に精通しております。

また、地域においては、スポーツ指導やボランティア活動に力を注いでおり、地域住民からの人望も厚く、人格が高潔で豊かな織見を有しており、本町の監査委員に最適任者であると確信している。

このように、若い会員の中から活躍をしている方がいることは嬉しい限りであります。

また、九州支部鹿児島県会 会員 川畑信一氏が、龍郷町の町会議員に2016年8月の龍郷町町会議員選挙において当選をしました。

龍郷町は、鹿児島県と沖縄県のほぼ中間地点にある奄美大島。この奄美大島北部に位置する龍郷町は、大島紬の発祥の地であり、亜熱帯の温暖な気候に育まれた独自の動植物と、国の重要無形民俗文化財にも選ばれているアラセツ(新節)行事「ショチョガマ」「平瀬マンカイ」など歴史ある文化が特徴の町です。

今年は、世界自然遺産登録に向けた国立公園の指定も受け、これにより奄美大島と徳之島の世界自然遺産登録に弾みがつき、最短で2018年夏の世界自然遺産登録の実現が現実味を帯びて参りました。

また、潜居を命じられ3年余りの歳月を龍郷町で過ごし、本町とご縁の深い西郷隆盛翁を題材としたNHK大河ドラマ「西郷どん」の放映が決定しており、本町もクローズアップされ国内外から注目を浴びる重要な年と考えています。

本町では、研修施設を兼ねた歴史資料館・図書館がオープンし賑わっています。企業や経営士の先生方のセミナー施設として利用できる生涯学習センター「りゅうがく館」が有りますので、観光や自然観察を兼ねて研修にご利用下さいませ。

また、経営士会での知識や経験を活かして、歴史や文化、自然などの地域資源に磨きをかけ、国内外にアピールをして地域経済の活性化に努めたいと考えていますので、会員の皆様の協力やご指導の程、よろしくお願いいたします。

(文：九州支部鹿児島県会 会員 川畑 信一)

会員広場

米国アトランタレポートお届けします！

堺 剛

7月22日(土)～7月26日(木)米国アトランタに出張してきました。アトランタで行われたGMWA(ゴスペル・ミュージック・ワークショップ・アメリカ)という音楽イベントに参加するためです。世界中から多くのシンガーが集まるこのイベントも今年で50周年。日本からも30名以上の方が渡米し、日本在住ラニーラッカー氏率いるGMWA日本支部合唱団は数か所の大舞台で歌いました。その合間に観光もしました。写真等で雰囲気を楽しんで頂けたら幸いです。



黒人の皆さんにとってゴスペル音楽を歌ったり聴いたりすることは食べることと同じように欠かせないことだそうです。



黒人料理(ソウルフード)

奥左：マカロニ&チーズ、奥右：豆の煮物、手前左：カラードグリーン、手前右：キャンディヤム



黒人街にあった落書き。落書きの多い場所は治安が悪いと言われている。ギャングが縄張りを主張するためである。



過去と現代のアトランタの重要人物が交差する場所。キング牧師とテッドターナー(CNN創業者)。



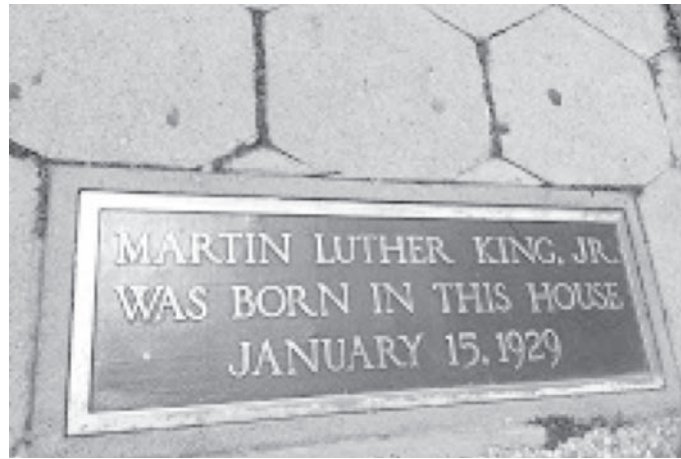
目はあなたを見ている(IとEYEをかけている)! どう見ても鬼太郎のお父さんにしか見えない。。。



エベニザー・バプテスト教会。キング牧師と父親が務めていた。キング牧師の死後、この教会でオルガンを弾いていた母親はここで射殺された。今は、キング牧師の生前の説教が流されており、目をつぶるとキング牧師がそこにいるような気になる。



キング牧師夫妻の墓石



キング牧師の生家



五輪100周年記念公園。残念ながらアトランタオリンピック開催中に爆破事件があったことは記憶に新しい。



アトランタと言えばCNN！ Cable News Networkの略である。



ワールド・オブ・コカコーラ博物館



フィリップス・アリーナ



公民権・人権センターにて
有色人種



公民権・人権センターにて
白人



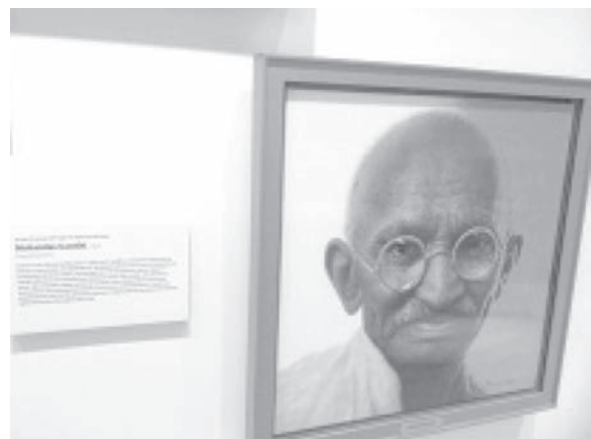
公民権・人権センターにて
人種分離主義者達



公民権・人権センターにて
現代の独裁者達



公民権・人権センターにて
非暴力を唱えた
マーティン・ルーサー・キング



公民権・人権センターにて
非暴力を唱えた
マハトマ・ガンディー

今回のアトランタ旅行で一番考えさせられたことは人権について。キング牧師が唱えたI have a dream(私には夢がある)は2017年、実現しているであろうか？私はそうは思わない。公民権運動は遠いアメリカの話ではない。他人事のように思えるが、実は、現代の日本にも通じる話であると思う。この辺りは別の機会に書いてみたい。

取材：堺 剛(環境経営士)

支部活動報告

東北支部

開催日時 : 平成29年7月8日(土) 14:30~17:30

開催場所 : 札幌市 ホテルポールスター

参加者 : 3チーム 18名

トライアルケース「NPO運営の“食事付きの体験宿泊施設”の事業化」

MPP終了後、チームごとに発表、懇親会

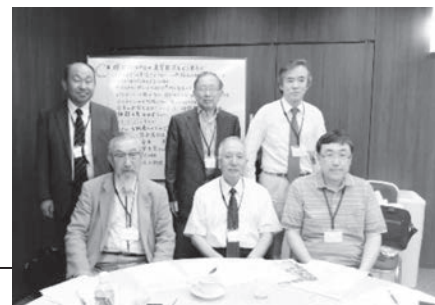


Aチーム

リーダー 野崎 繁 (北海道支部)
レコーダー 小又 勝山 (東北支部)
青木幸江 (一社日本経営士会会長)
高橋直也 (東北支部)
土橋 明・大條雅弘 (北海道支部)

Bチーム

リーダー 近藤安弘
(一社日本経営士会副会長)
レコーダー 茂木 昭 (東北支部)
有坂信彦・佐藤光子 (東北支部)
山石明宏 (南関東支部)



Cチーム

リーダー 高村一文 (北海道支部)
レコーダー 森 義雄 (北海道支部)
深田一弥・表 伸也 (東北支部)
平山道雄 (東京支部)
佐々邦雄 (北海道支部)



(小又会員によるAチームの発表)



(参加者記念撮影)



(先輩から若手経営士へ、熱く語る)



東日本ブロック合同MPP研修会に参加して 北海道支部 高村 一文

北海道支部は年1、2回開催だったMPPを、今年3月実施のMPPリーダー更新研修後から札幌在住会員を中心に月1回のMPP開催を行っています。これは、更新研修でMPPは会員間の研修ツールから外部向け商品へと変貌していることを知り、支部としてもMPPへの取り組みを見直す必要あるとの思いからです。しかし、外部向けMPPとはどんなものか、支部内でのMPP研修で外部商品として販売できる体制が整うのかは分からず、取りあえずは個々の技量を磨くことと相成っていました。今回、青木会長参加のもと開催された合同MPPでは、MPP創始者の平山先生より会員研修ツールとしての創設経緯や実践時のポイントを、20件以上のMPP販売実績がある近藤副会長より外部販売時のご努力や会員間でのMPPの積み重ねが外部販売時の力になること等、貴重なお話とMPP商品化への熱い思いをお聞きでき、今後のMPP取り組みへ大きな指針を頂くことが出来ました。そして、北海道では今年一番という猛暑の中、頼りないリーダーをフォローして頂いたチームの皆さんへ感謝しつつ、皆さんの体力気力に圧倒され、汗だく意識朦朧で帰宅の途についたのでした。



東日本ブロック合同 MPP に参加して 南関東支部 山石 明宏

平成 29 年 7 月 8 日、札幌市ホテルポールスターで開催された「東日本ブロック合同 MPP」に参加しました。青木会長や近藤副会長をはじめ、北海道支部、東北支部、東京支部、南関東支部の経営士の皆様に参加されていました。MPP の良いところは、年齢、立場に関係なく、様々な人の意見、考えを聞くことが出来るところだと思います。一人で考えていると、自分の経験からの判断に偏りがちになる時がありますが、そこには、参加された方の経験や考え方、視点が一堂に集まります。今回のテーマは、「NPO 運営の“食事つきの体験宿泊施設”の事業化」でした。このテーマでこれから研修を受ける方もいらっしゃると思いますので詳細は書きません。今回は A 班、B 班、C 班の 3 班に分かれての現状把握、問題点抽出、課題抽出、解決策の立案となりましたが、3 班とも視点が違うところが非常に面白かったです。「この視点は自分には無かった」と気づくことが出来るのが非常に面白いのです。どんなコンサルにも、得手不得手はあると思います。自分の不得手な所を補う考え方が聞けるということは、自分にとってプラスしかありません。年を追うごとに、そのような経験が出来る場が減ってきているような気がします。MPP は、私にとって「自分の考え方をフラットな状態に戻して」、「様々な人の経験や考え方を吸収する」数少ない場の一つです。また、今回のような合同 MPP の良いところは、普段なかなかお会いすることが出来ない経営士の皆様と顔を合わせることが出来るということだと思います。私は今回の北海道の他に、山梨で開催された MPP、大阪で開催された MPP に参加してきました。研修はもちろんですが、初めて顔を合わせる先輩経営士の皆様との懇親会は大変有意義な場となります。一緒に食事をする事で打ち解けて、さらに深い話が出るからです。今後も、MPP には参加させていただきたいと思います。今回、東日本ブロック合同 MPP にお声がけいただいた青木会長、近藤副会長、東北支部の佐藤支部長に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



東日本ブロック合同 MPP 報告 北海道支部幹事 佐々 邦雄

平成 29 年 7 月 8 日、札幌市中央区にあるホテルポールスターにおいて東日本ブロック合同 MPP が青木会長、近藤副会長、佐藤ブロック理事のご臨席をいただき総勢 19 名の参加をもって開催されました。この度のトライアルケースは、「NPO 運営の食事つき体験宿泊施設の事業化」という大変な難問でした。3 チームに分かれて三人のリーダーが参加者の意見をまとめ、各チームの代表が検討内容の発表を致しました。発表内容は三者三様で、あるチームは運営主体の組織論について検討し、NPO だけに運営を押し付けるのではなく、地域の住民組織との連携を深め、運営組織を活性化することを提案しておりました。また、他のチームは集客を増加させるためにはどのような宣伝等の周知活動をするべきかというマーケティングについての具体的な提案を、そしてトライアルケースのような山村における事業の展開は、何を訴求して都会人の心をつかむかという経営戦略についての提案が発表されました。一つのトライアルケースにそれぞれ異なる視点からの発表に驚いたところです。発表後に平山道雄会員から、各チームの発表内容が多様であることが現実の改善提案において重要であるとのことご講評をいただき、心を強くした次第です。北海道支部におきましても今年 4 月から毎月 MPP を実施してまいりました。東日本ブロック合同 MPP での経験を糧として、今後も頑張らなければと決意したところであります。ご参加いただきました皆様に深く感謝申し上げ、今後ご指導を宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。

小林実会員 出版記念パーティ 開催

平成 29 年 7 月 27 日 (木)

18:00~20:00

会場：江陽グランドホテル「鴛鴦の間」



たった 1 枚のはがきが会社の
売上げを上げる！小林実会員の
「感動はがき」のノウハウが
ぎゅっ詰まった一冊です。

東北支部第 2 回環境経営士養成講座 開催

◆ベーシックコース

平成 29 年 7 月 1 日 (土)

9:30~16:30



◆アドバンストコース

平成 29 年 7 月 15 日 (土)

~16 日 (日) 9:30~16:30



会場：仙都会館 7 階会議室 (仙台市青葉区)

講師：環境経営士 山下健二会員・表 伸也会員

支部活動報告

2017年度第1回 茨城県会公開MPP 開催結果 (Management Professional Program)

北関東支部

茨城県会では公開MPPを年間4回開催、MPPへの魅力付加のため、県外や賛助会員、次に会員外を招き、複数チームでの開催を心掛けています。2017年度第1回公開MPPについては、千葉・埼玉・南関東の各支部を含み、各地区計7名にご参加いただきありがとうございます。今回は、目標の2チームになり、少数会員の茨城県会、参加者に感謝です。

変わり映えしない報告ですが、継続開催して力をつけたいと考えています。

今回は最近登録のケース、広義の内容検討等も試行、概要を以下に示します。

1. 開催日：2017年6月17日(土)
13：30～17：00(事前説明等、終了後検討会各15分間)
2. 参加者：2チーム、計7名(県内4名・県外3名)(新入会1名)
3. 開催場所：ひたちなか市 ひたちなか商工会議所
4. 使用ケースコード：41-020-198
5. 題名：貸おしぼり会社の営業戦略(経営・教育)
6. 終了後検討会：質疑応答を含み計15分間
7. ケース選定の理由：会員に経営者が参加、事業戦略や収益計画立案等に資するため。
副次的選定の理由：筆者は前MPP委員、審査終了して、登録直後のケースを遣い、広義の内容検討等も冷静に実施。結果を間接的に作成者に戻すことを試行。
8. チーム編成と会員外参加者について：
 - 1) 7名で2チーム編成、終了後検討会開催が大切、活発な意見交換できたと判断。
7名1チーム編成では多過ぎ、少数の3名チームができるが肯定的に考える。
当県会ではリーダー体験者を増加、MPPの会員外への普及に寄与したい。
チーム編成は5名が適切そう。6名より4名の方がよさそうである。
 - 2) 今回は新入会の参加あり。参加者に感謝。広く呼び掛けが大切、続けたい。
終了後、懇親の場を設け、情報交換や対話不足を補い、相互理解を深めている。
 - 3) 日刊工業新聞社 今回は遣り繰り不可だったが、茨城支局等にも働き掛けている。
9. 参加者の感想等：関西支部 河上会員への冷静なフィードバックに相当。
 - 1) 登録直後のケースに磨きをかけるMPPも有効だろう。冷静に見て欲しい。
 - 2) 「貸おしぼり会社の経営戦略(経営・教育)」は事前把握が必要、標題の通りMPP初心者への教育用ケースとして使用が適切と思う。新入会者の参加は適切だった。実力向上に役立てたい。
 - 3) 従来ケースに対して新鮮味があり、初心者用ケースとして活用したい。
 - 4) 地域密着型経営戦略のあるべき姿を考えるケースと思う。
生業、家業と言えるケースで、当初はまず売り上げの拡大、経費の節減だろう。
売り上げ拡大策を考える中で、マーケティング的視点を入れ込みたい。
 - 5) 旧知のメンバーであるが、自己紹介は話題の尽きない最近の状況報告で適切だった。
 - 6) 2チーム構成、4支部に及び、各支部の特徴が出てよかった。
 - 7) MPPにも県民性的な要素があり、各県会に呼び掛けて、多くの参加者に集まってもらう工夫が必要と思う。参加者の多様性確保ということである。

- 8) 地域密着型の企業につき、残す、残れるようにするのが、社会的使命と言えそうだ。
人口減少社会になり、こういう広い視野、視点も必要だろう。
埼玉県の石坂産業が広い意味で参考になる比較対象の企業と言えるだろう。
同社は1次／2次／3次産業に展開している。新規読者のために重複掲載する。
- 9) リーダーの資質(基本的技量)の向上にも、参加者全員で取り組みたい。

本ケースは新規作成のケース、過去のケースを修正するより、新規ケースを作成して、その練り上げに努力する方が、外部活用等しやすいと筆者は考えている。
微修正で済むケースは別であるが。本年末頃開催の北関東支部MPPの参考にする。
単刀直入に言えば、既存ケースの修正より、新規作成に注力が得策と思える。
MPPは企業経営に役立つとの感触を得ており、敢えて従来同様に重複記載します。
参加会員の皆様のご理解、ご協力により、密度の濃いMPPになり感謝します。
よき伝統が今後も引き続くことを信じています。

(写真提供 山梨県会 近藤 安弘副会長)
(茨城県会 MPP お世話係 塚本 裕宥)



支部活動報告

埼玉支部研究会活動報告会の開催

埼玉支部

埼玉支部では、現在下表のように3研究会が活動中です。

表 埼玉支部研究会一覧(発足順)

	名 称	代表者名	発足年月
1	アーリーバードクラブ	豊田 賢治	平成 18 年 6 月
2	環境経営研究会	高橋 洋子	平成 27 年 4 月
3	BM キャンパス研究会	小西 洋三	平成 27 年 4 月

なお平成29年3月までCSR研究会がありました。代表の上田隆一氏の健康上の理由で、お辞めになり、当事者で話し合った結果、環境経営研究会に合流しました。

平成29年7月22日(土)、さいたま市の浦和コミュニティーセンターにて支部月例会として「平成28年度埼玉支部研究会活動報告会」を開催致しました。

「ビジネスのヒントがキット見つかる」をキャッチコピーとして上記3研究会の活動が報告されました。各研究会とも発表持ち時間は30分でした。

以下、各発表の要旨を列挙します(発表順；各発表者が執筆したまま掲載)。

1. BMキャンパス研究会 (発表者：小西洋三代表)

[タイトル] 「事業計画におけるビジネスモデルの位置づけ」

～外部・内部環境の変化に即応できるビジネスモデルとは～

[内容]

企業のビジネス環境は、激しく変わっている。理由は新興国の追い上げなどによる需要・供給構造の変化が考えられ、IT化、グローバル化により、変化もスピード化している。

企業における最近の事業計画作成方法は、外部・内部環境の調査を基にSWOT分析、続いてSWOTクロス分析により戦略あるいはシナリオを導く手法が標準的になっている。

当研究会では、この戦略あるいはシナリオを基にビジネスモデルを作成する工程の追加を提案した。なお、ここでのビジネスモデルは、世界的に普及しているビジネスモデル・ジェネレーションの手法により作成したビジネスモデルを採用している。

更に変化のスピード化に対応するため、ビジネスモデル・ジェネレーション普及の権威、今津美樹氏は「走りながら考える」方式、即ち先ずビジネスモデルを作成し、顧客分析、外部環境分析(SWOT分析)を行い、ビジネスモデルを改善する方式を提案している。

2. 環境経営研究会 (発表者：高橋洋子代表)

[タイトル] 「企業の戦略的経営をリードする」

[内容]

企業が持続可能な経営を続けて行く為には、サステナビリティ 3原則である「環境」「社会」「経済」の視点で環境経営を営んでいく必要がある。そのことから会員が自社活動に取り入れるとき、

あるいはコンサルタントとして企業をサポートする時、企業の戦略的経営をリードする為に必要な力量を磨くため、勉強会を下図の予定で実施している。

NO	テーマ名	月 日
1	ISO14001-2015 改訂版 「環境」「社会」「経済」	2017/5/21・6/18・8/5・10/8・12/2 2018/2月・4月
2	再生可能エネルギーによる 電力の確保と利用について	6/18
3	CSR の限界 (仮称)	8/5
4	フロン排出抑制法	10/8
5	MFCA (マテリアル・フローコスト会計)	12/2
6	ピース・ボート	次期 4月

また、昨年度、経済産業局の基調講演を軸とした経営改善塾を開講したが、今期も下記のように開催することになった。

予告 経営改善塾の開催 (日程 10/3・10/20 予定)

経済産業局基調講演「環境視点による経営改善テクニック～国の省エネ関連補助制度～」、特別講演「企業が率先する低炭素な社会づくり～COP21 から見えるもの～」(環境ネットワーク埼玉)、その他

なお、我々環境経営研究会も日ごろの勉強会の成果物として企業の戦略的経営について講義の演壇に立つ。企業が発展的CSRへの取組みで、戦略的に付加価値を創出し、創造的製品や、サービスを提供できるようリードしていくことも環境経営研究会の使命のひとつと考えている。

3. アーリーバードクラブ (発表者：豊田賢治代表)

[タイトル]「あなたはムダな読書をしていませんか？」

～本の内容をすぐ思い出せるアウトプット法とは～

[内容]

本を読んでも、内容をすぐ忘れて役に立てられずに、読んだことがムダになったという経験はないだろうか。以前の私は読んだことすら忘れて、同じ本をまた買ってしまったということも2, 3回あった。

そこで、本の内容を「マインドマップ風」にまとめることで、この問題を解消できた。マインドマップは、一目で内容が分かる、記憶の連鎖で思い出しやすい、頭の整理になる(部分と全体が明確になる)、相互に関連付けやすくなる、など文章や箇条書きでは得られないメリットがある。マインドマップは脳の思考過程を図に表したもので、見ただけで何が書いてあるかを把握できるため、後から見直すのに楽である。

このように、本のエッセンスをマインドマップ風にまとめ、実行することで本への投資の何倍ものリターンを得ることが出来ている。

以上、日頃の各研究会の活動ぶりが披露され、好評のうちに終了しました。

(文責：豊田 賢治、高橋 洋子、小西 洋三(まとめ))

支部活動報告

静岡経営支援センター会議を開催

南関東支部

静岡経営支援センターは、2年ほど前にセンター長不在となり、以後事務局長が代行していたが、事務局長も昨年3月に退会し事業活動が滞っていた。

今年、7月22日に、平川会員の紹介でレンタルルーム浜松エニシアにて近藤副会長、南関東支部花上支部長に出席いただき、ようやく静岡経営支援センター会議を開催する事ができた。

会議は近藤副会長、花上支部長の挨拶に続き、山本新センター長、平川新事務局長の就任挨拶が行われた。経営士30余年経験豊富な山本センター長と、今年3月に入会された税理士の平川新事務長のコンビは新鮮で、お二人で何度か打ち合わせをされ事業計画が策定されている。

平成29年度の組織及び事業計画について山本センターが説明を行った。

- ① 新組織
- | | |
|-------|-------|
| センター長 | 山本 英夫 |
| 事務局長 | 平川 昌彦 |
| 常任理事 | 久米 行子 |
| | 竹内 一登 |

② 会員の特長を活かした研究会の発足

- ・ ビジュアルMPP研究会
担当 山本 英夫
- ・ ビジュアルミーティング研究会
担当 山本 英夫
- ・ 会計管理クラブ
担当 竹内 一登
担当 平川 昌彦



(ビジュアルミーティング説明)

等の楽しい研究会が発足した。また意見交換会では

- ・ 神奈川で開催するセミナー、講座等のニュースは静岡にも知らせ情報を共有する。
- ・ 静岡経営支援センターは、平川事務局長の事務所を一部お借りする。
- ・ ホームページの作成は平川事務局長にお願いする。
- ・ 山本センター長より静岡の特長として「ビジュアルミーティング」を目玉にセミナーや会員の集客を行いたいと説明があり(PC上で実演(写真))説明された。
- ・ 所用で参加できなかった会員からは、静岡地区での開催の要望意見があった。

センター取り組みについて、計画の説明や活動方法について活発な意見が出され、今後の静岡経営支援センターの運営に有意義な意見が多く会議は終了した。

(記 南関東支部事務局長 津田 嵩)

MPP(Management Professional Program)研究会報告

開催日時：7月16日(日) 12:30~15:30

開催場所：名古屋市芸術創造センター 5階

ケースタイトル：「製造業から小売業への進出(経営・教育)」

参加者名：加藤、三品、伊藤、中津、梅本、古舘、今枝、吉田、日野(9名)

中部支部ではMPP研究会を2~3か月に1回、中部支部員5~10名位で開催いたしており、今回は本年4回目、9名にて開催いたしました。MPPのベテラン経験者からまだ数回の経験者を含め、リーダーやレコーダーは、毎回交替で実施しております。メンバーの得意業種としては製造業系、商業系、マネジメント審査員、リサイクル業、大学教授等の違分野関係にて毎回活発な発言を交わしています。

今回のケースメソッドは、B企業の業績が取引先企業の不振の影響を受け低迷が続いていた為、新規事業にて「自転車の小売り」プロジェクトチームを組んでの進出であった。これまでのBtoBからBtoC業態の変換であり、小売店の進出を含め、当初は勢いに乗ったが、半年で大型店の進出、健康志向やスポーツ志向の変動、消費者の低価格志向により売上低下を来し、コンサルにプロジェクト再建の提案の要望であった内容でした。

今回のメソッドは、製造業から小売業への進出を図ることでしたが、中部支部員には双方のコンサル経験者が揃っており、業種の違うメンバーによる、お互いの考え方が良く理解出来たMPP研究会となりました。

中部支部は、この数年間、MPP研究会を継続し続けていますが、MPPリーダーの養成が必要であること(11月の近畿支部のリーダー養成講座には1名参加予定)、有料MPP研究会にすること、一般企業向けMPP外部セミナー実施などが課題であり、現在検討しているところです。

(中部支部 副支部長 三品 富義)



(MPPケースメソッド検討中の支部員)

支部活動報告

MPPを通して知見を拡大する

近畿支部

私がMPPを知ったのは、経営士登録して間もない時に近畿支部での勉強会に参加した時でした。問題解決のプロセスについては、大学時代を含め、過去、幾度も学ぶ機会があったので専門的知識を必要とする場合を除いてスムーズに理解することができました。また皆で討議し、常に発想の拡大・収縮→結論立ててゆくことで研鑽を積むことが経営士にとって必要だと実感しました。

一番の驚きというものは、ケースの2ページ目「このケースでの注意点」に掲載されている、同じケースであっても、参加者構成・場所、参加者の個々人の考えによって討議の入り方、着眼点、結論・見解が異なることでした。

本格的にMPP研究会に参加するきっかけとなったのは、昨夏、山梨でのケースの書き方セミナーに参加し、ケースを通じて、顧客を巻き込み、どのように問題提起して、見解→提案へのプロセスへ如何につなげていくことが重要であることを知ったからでした。以来、所属する近畿支部のみならず、山梨などの他支部・経営支援センター、夏に開催される、女性リーダーによるMPPにも参加し、「他の方がこのケースでどのように考えているのか。」ということを知り、自分自身の知見の拡大、知識の再整理を行っています。

ゼロからのケース作成やリーダーはまだまだですが、いつか、「小規模企業の経営と健康」など私が興味ある分野でケースを書きたいと思っています。

(近畿支部 北原 雅人)

近畿支部では、11月にMPPリーダー研修会を実施します。

(詳細は、マネジメントコンサルタント6・7月号P41をご確認ください。近畿支部以外の方も、参加をご検討ください)

お問合せは、近畿支部MPP担当の河上までお願いします。

メール：ruby@blue.ocn.ne.jp 電話：080-6133-5191



(MPPで活躍する北原会員)



(日々研鑽に勤めています)

支部活動報告

MPPを通してコンサルタントビジネスを開発する

近畿支部

今年6月に経営士となりました仲田頼継です。

私は外資系IT企業にて、製造業の設計開発用途のITソリューションを、セールス・マネジメントの視点で長らく扱ってきましたが、よりビジネスコンサルティングアプローチを深めてお客様やビジネスパートナーとのビジネス推進を行うことに、本会で得た知識を活用しております。

近畿支部のMPP(MANAGEMENT PROFESSIONAL PROGRAM)には毎月参加しており、各題材のテーマに対して研究を進めております。

MPPに対する私のモチベーションは、さまざまなケースを通じた、ケースメソッド方式での戦略策定プロセスが習得できることとなります。バックグラウンドや専門分野も違う経営士の皆様との討議により、戦略策定プロセスの定石が習得でき、その上で経営士自身のアプローチ・戦略を練ることができると感じております。

MPPは兎角、研究の場にとらえられることもあるかと思いますが、これらの研究を踏まえて、

- ・経営士はどのようにクライアントとビジネスを推進させるべきか？
- ・クライアントにとってのヴァリューをどのように対価に変えるか？

ということと同時に考えて、私たち経営士が顧客とのビジネスを進めるべきか？という視点を常に持って臨んでおります。

経営士自らの戦略を軸に持ちMPPに参加をすると、今後の経営士というビジネスへの期待やその可能性が大きく膨らみます。

より「顧客と共に儲かる」コンサルタントとなる非常に有益な場であるとともに、ビジネスチャンスを見つける場でもあるので、積極的にMPPを活用していきたいと思っております。

(近畿支部 仲田 頼継)

近畿支部では、11月にMPPリーダー研修会を実施します。
(詳細は、マネジメントコンサルタント6・7月号P41をご確認ください。近畿支部以外の方も、参加をご検討ください)

お問合せは、近畿支部MPP担当の河上までお願いします。
メール：ruby@blue.ocn.ne.jp 電話：080-6133-5191



仲田頼継 (Facebookより)

第67回MPPリーダー養成と第66回MPPリーダー更新研修報告

開催日：2017年7月7日 9：30～7月9日16：30

開催場所：台湾台北市 群泰企管顧問会社

台湾台北市長安東路二段49號4樓之一

講師：上野延城先生、李孟熹先生

研修者：李孟熹、蔡有義、吳奇岳、李啟華、黃世欽、邱黎燦、莊翔斌、邱炳輝、陳益世、
王添義、林漢卿

通訳者：蔡有義、黃世欽

開催に先立ち、台湾支部長より、研修者に本研修の目的と所定の研修科目の説明がありました。続きまして、李孟熹講師より中国語のPowerpointファイルを利用し、MPPリーダーマニュアルの構成、ガイドライン、特徴及びMPPリーダー養成の目的などを詳しく研修者たちに解明されました。初日の午後の研修は、MPPの将来性と活用提案に関する発想を巡って、チーム別で活発的な意見を交流しあった後、合同発表が行われました。

7月8日と9日の研修にて上野延城講師より、日本語でMPPリーダーマニュアルの要点をより一層再提示し、新しいMPP普及活動リーダーマニュアルの内容について詳しく説明されました。さらにMPP研究の用語解説について具体的に例を挙げて、研修者に解明を行いました。7月8日の夜は研修会場の近くのレストラン「喜乃膳」で和やかな雰囲気の中で懇親会が催されました。

今回の研修を通じて、参加者はMPPリーダーと普及活動リーダーに関する知識を方法論で学習でき、かつ活発的な交流も行われ、皆大変よい勉強になったと感じております。

研修結果について、MPPリーダー養成者1名、更新者10名となりまして、しかもその内7名の普及活動リーダーも認定されて、大変成功な研修会となりました。



(講師と研修生)

平成29年 下期試験・講座ご案内

研修・セミナー名	日時	開催場所	詳細	申込法
第100回経営士試験	11月5日(日)	日本経営士会 本都会議室	受験料：10,000円	当会HPをご覧ください。
環境経営士養成講座 ベーシックコース	11月18日(土) 10:00～17:30	日本経営士会 本都会議室	募集人員：8名 受講料：10,000円/1人	当会HP、[環境保全活動の ご案内]をご覧ください。
環境経営士養成講座 アドバンスコース	11月25日(土)、26日(日) 10:00～17:30(2日間)	日本経営士会 本都会議室	募集人員：8名 受講料：20,000円/1人	当会HP、[環境保全活動 のご案内]をご覧ください。

支部研究会ご案内

【北関東支部】

*NJK主催MPP

9月 3日(日)13:30～16:30(予定)

ひたちなか商工会議所

*茨城県会公開MPP

9月16日(土)13:30～16:30

ひたちなか商工会議所

*茨城県会月例研究会

(経営士の提言、MPPケース作成、その他)

10月11日(土)13:30～16:30

ひたちなか商工会議所

*北関東支部公開MPP

(茨城県会主管、県会公開MPPと同時開催)

12月 9日(土)13:30～16:30(ほぼ確定の時間)

12月10日(日) 9:00～12:00(ほぼ確定の時間)

ひたちなか商工会議所

【埼玉支部】

*BMキャンパス研究会

9月11日(月)18:30～21:00

武蔵浦和コミュニティセンター 8F第6集会室

*公開研修会

9月17日(日)14:30～17:00

武蔵浦和コミュニティセンター

(武蔵浦和駅西口サウスピア8階第8集会室)

*環境経営研究会

10月 8日(日)13:00～17:00

川口市かわぐち市民パートナーズステーション多目室

*公開研修会

10月29日(日)14:30～17:00

武蔵浦和コミュニティセンター 8F第6集会室

【TAMAマネジメント研究会】

9月30日(土)14:00～17:00

三多摩労働会館

10月12日(木)14:00～17:00

企業見学

10月28日(土)14:00～17:00

三多摩労働会館

11月25日(土)14:00～17:00

三多摩労働会館

【一木会】

9月 7日(木)15:00～17:00

10月19日(第3木)15:00～17:00

11月 9日(第2木)15:00～17:00

12月 7日(木)15:00～17:00

(会場は毎回ホテルグランドヒル市ヶ谷2F)

【中部支部】

*ECO研究会

環境経営士「プロコンとして何を実践すべきかの研究」(4)

9月 3日(日) 9:30～11:30

*MPP研究会 MPPケーススタディ (3)

9月 3日(日)12:30～15:30

*AC研究会

連想シートでアイデア創造「アイデア創造のツボとコツ」

9月24日(日) 9:30～11:30

*会計・財務研究会

経営力、資金調達力の強化「中小企業会計の基本」(4)

9月24日(日)12:30～14:30

*環境経営士研修会

環境経営士「フォローアップ研修会」

10月 1日(日)10:00～16:00

*公益事業研究会

「メッセナゴヤ2017プロジェクト委員会」

10月 8日(日) 9:30～11:30

*幹事会

「10月幹事会」

10月 8日(日)12:30～14:30

*公益事業研究会

「メッセナゴヤ2017プロジェクト委員会」(2)

10月22日(日)12:30～14:30

(会場は毎回名古屋市芸術創造センター)

インフォメーション

PR

一般社団法人日本経営士会

南関東支部

支部長 **花上一雄**



花上グループ『社外人事部®』

★社会保険労務士法人 **閃光舎**

併設団体 中小企業経営協力会

★人事情報システム株式会社

★オフィスサポート株式会社

TEL:045-360-5560 FAX:045-360-5561

■E-mail: hanaue@hanaue.co.jp

■URL: www.senkousha.or.jp

〒246-0023 横浜市瀬谷区阿久和東 2-5-13

名刺広告募集

会報誌に名刺広告を掲載いたしませんか！
随時、掲載の申し込みを受け付けています。
事務局までご連絡下さい。
価格は下記の通りです。

種類	価格 (会員)	価格 (一般)
カラー1面	35,000	50,000
モノクロ1面	20,000	25,000
モノクロ 半ページ	10,000	15,000
モノクロ 名刺サイズ	5,000	7,500

*連続で掲載の場合は、2割引きになります。
12・1月号は、特に謹賀新年の名刺広告を
承ります。

❀ 〈お知らせ〉 ❀

2018 経営士手帳は、会報誌11・12月号（発行予定は11月上旬）と一緒にお届けする予定で準備を進めています。ご活用をよろしくお願い致します。（事務局）

❀ 〈お願い〉 ❀

9月末は、上期決算期に当たります。ご関係者の会員様は、ご多忙の中、恐縮に存じますが何卒ご協力をお願い申し上げます。（経理担当 原田）

❀ 〈収益事業開始届提出に伴う事業計画書・報告書のご提出について〉 ❀

今年度収益事業開始届を提出し、各事業を収益事業に該当するか本部で判断するため、各支部・事業部・委員会にて新規事業開始の際には計画書、実施後には報告書を必ずご提出いただくことになりました。様式を一新したものを9月に各支部長あてにお送りする予定です。よろしくお願い致します。（事務局）

❀ 〈編集後記〉 ❀

今回は特に、MPPに関する記事をたくさんいただきました。
MPP (Management Professional Program の略です) は、日本経営士会が独自に開発したケースメソッド方式による経営能力開発プログラムで、経営士会の宝です。今後は広く企業・団体の方々にも普及、活用が期待されます。

待ったなし！ の改革に経営コンサルタントは、どう対応するか

論題「働き方改革」を考える

- 発表者
1. 中央大学教授 松丸和夫氏
仮題「働き方改革」の現状認識と改革課題
 2. 中央大学教授 鬼丸朋子氏
仮題「働き方改革」は、企業の労使に何をもたらすか
 3. 株式会社キャリア・マム 代表取締役 堤 香苗氏
仮題「働き方改革」と中小企業経営

日程 平成29年10月14日（土） 13時00分から16時30分
会場 中央大学後楽園キャンパス
定員 30名
参加費 1人2,000円（当日参加もOKです）

参加申し込みや会場の案内は、下記学会事務局までご連絡ください。

経営士学フォーラム



昨年（2016年）9月27日、政府は総理を議長とする働き方改革実現会議を設置しました。本年（2017年）年3月28日、働き方改革実現会議にて「働き方改革実行計画」が決定され、工程表が示されました。

政府は、今年の国会に関連法の改正案を提出し、2019年度からの実現をめざすとしています。「働き方改革」では、長時間労働の是正、同一労働・同一賃金などが、法改正を含めて検討されていますが、それは同時に、働いている一人ひとりの生産性を高める職場づくりを、どのように創り上げていくかという問題でもあります。

「働き方改革」の理論的・実践的な問題について考える、フォーラムを企画しています。

経営士学学会

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町1-7

チカラビル4階（経営士東京気付）

TEL(03)5577-8817 / FAX(03)6662-7218

Mail:academy-mc@clear.ne.jp

経営士学学会

会長 赤池 知保

Management

経営に知恵と革新

Intelligence and Innovation in Management

Consultant